

●●●●年●月●●日

●●保育園 園長 ●●●●

虫忌避剤（虫よけ剤）の使用について

暑い日が続き、蚊が出始めました。保護者の皆さまに、当園の「虫忌避剤」の使用についてお伝えいたします。

家庭より長い時間を外で過ごすことは価値。リスクは当然。価値とリスクを明示しましょう

該当しないものは削除

園では、子どもたちの健康と成長のため、公園や園庭などの屋外、デッキ、テラスなどで過ごす時間を長くとっています。蚊に刺されることもあります。屋内であっても、蚊やブヨ（ブユ）がいることはあります。ですから、**子どもたちが蚊に刺されないようにすることはできません**。ご了承ください。

一番重要なので強調：本文を明朝体にし、強調したい部分をゴシック体にして赤字

虫忌避剤（虫よけ剤）の使用について、当園では次のようにしています。虫忌避剤はあくまでも、蚊やハエなどの特定の虫を「忌避」するものであり、「刺されない」ように保証する**ものではない**ことをご承知おきください。なるべく蚊に刺されたくないという場合には、屋外活動用の薄い長そでの上着、薄い長ズボンをご用意ください。

あなたの園に合うものを選び、適宜、書き換えてください
(①または②。あるいは①と②を混ぜる。以下同)

虫よけスプレー

①当園では、アレルギーや化学物質過敏症の危険があるため、虫よけスプレー（またはクリーム）はつけません。必要とお考えの場合、虫よけスプレー（クリーム）は朝、ご家庭でつけてきてください。ただし、商品の注意書きにも書かれている通り、お子さんの手や顔にはつけないでください。お子さんがなめたりする危険があるためです。**必ず朝、「つけてきた」旨、保育士にお伝えください。**

②当園では、●●（商品名）という虫よけスプレー（クリーム）を、散歩に行く時や夕方など、**ご希望のお子さん**に園でつけます。かぶれやアレルギーがないことを家庭で必ずご確認のうえ、ご希望の方はお申し出ください。

「いやな人は言って」ではなく
「希望の人は言って」です。

アロマの虫よけスプレー

①「アロマだから」「天然成分だから」誰にでも安全ということはなく、アレルギーや化学物質過敏症を起こす場合もあります（ユーカリ等）。口にすると毒性があるものもあります（シトロンネラ等）。園ではつけませんので、朝、ご家庭でつけてきてください。**必ず朝、「つけてきた」旨、保育士にお伝えください。**

②当園では、●●（商品名または液体名）というアロマの虫よけスプレーを、散歩に行く時や夕方など、ご希望のお子さん

いことを家庭でご確認のうえ、ご希望の方はお申し出ください。

虫よけパッチ

- ①虫よけパッチはかぶれなどの原因にもなります。ご家庭で何回も使ってみてからご使用ください。お使いになる場合は、**パッチに油性ペンで必ず名前を書き、朝、「つけてきた」旨、保育士に必ずお伝えください。**落ちてしていると乳児が口にして窒息等の危険があるためです。
- ②虫よけパッチはかぶれなどの原因にもなり、落ちてしていると乳児が口にして窒息等の危険があるため、お使いにならないでください。

これを使う選択はないと思いますが、使うようでしたら上の虫パッチと同様

アロマの虫よけテープ

テープは、落ちてしていると乳児が口にして窒息等の危険があります。また、テープ自体を子どもがなめると有毒のもの、アレルギーや化学物質過敏症を起こすものもあります（ユーカリ、シトロネラ等）。においも化学物質過敏症の原因にもなります。お使いにならないでください。

手足につける虫よけリング

- ①虫よけリングはかぶれなどの原因になります。ご家庭で何回も使ってからご使用ください。お使いになる場合は、**必ず朝、「つけてきた」旨、保育士にお伝えください。**こちらで養生テープなどをつけ、**名前を記入させていただきます。**子どもたちが口に入れたり、なめたりする危険があるためです。
- ②虫よけリングはかぶれなどの原因にもなり、子どもたちが口に入れたり、なめたりする危険があるため、お使いにならないでください。

これを使う選択はないと思います

ぶらさげるタイプの虫忌避剤

国民生活センターおよび消費者庁が効果を疑問視し、措置命令を出しています。対象とされている虫は、ヒトを刺す蚊ではありません。ですので、当園では使用しません。

二酸化炭素を発生させる「蚊取りボトル」

これを使う選択はないと思います

ペットボトルの中で嫌気発酵をさせ、蚊を集める方法もインターネット上で紹介されていますが、こどもが水を口にする危険がありますので、使用しません。

蚊取り線香や燻煙式のものなど、蚊を殺すもの

蚊取り線香等に使われている成分は人体にとって安全とされていますが、においによって気分が悪くなったりする場合があります。特に乳児は「においで気持ちが悪い」とは言えないので、室内では使用しません。園庭や玄関では使用しますが、風向き等によって効果は変わります。

または、全面的に使わないならば「～とは言えないので使用しません。」

虫刺されの時の対応等については、●●●●をご覧ください。

園の文書や掲示等